



MISATO Town Assembly

美郷町議会だより

2023 ① No.65

発行／宮崎県美郷町議会

編集／議会広報広聴特別委員会 広報部会

〒883-1101 東臼杵郡美郷町西郷田代1

TEL(0982)66-3607 FAX(0982)66-3137

■新年を迎えて2P

■第4回定例会

補正予算等18議案 原案可決3～4P

■第3回臨時会5P

■町政を問う!～第4回定例会一般質問～6～9P

■議会活動報告10P

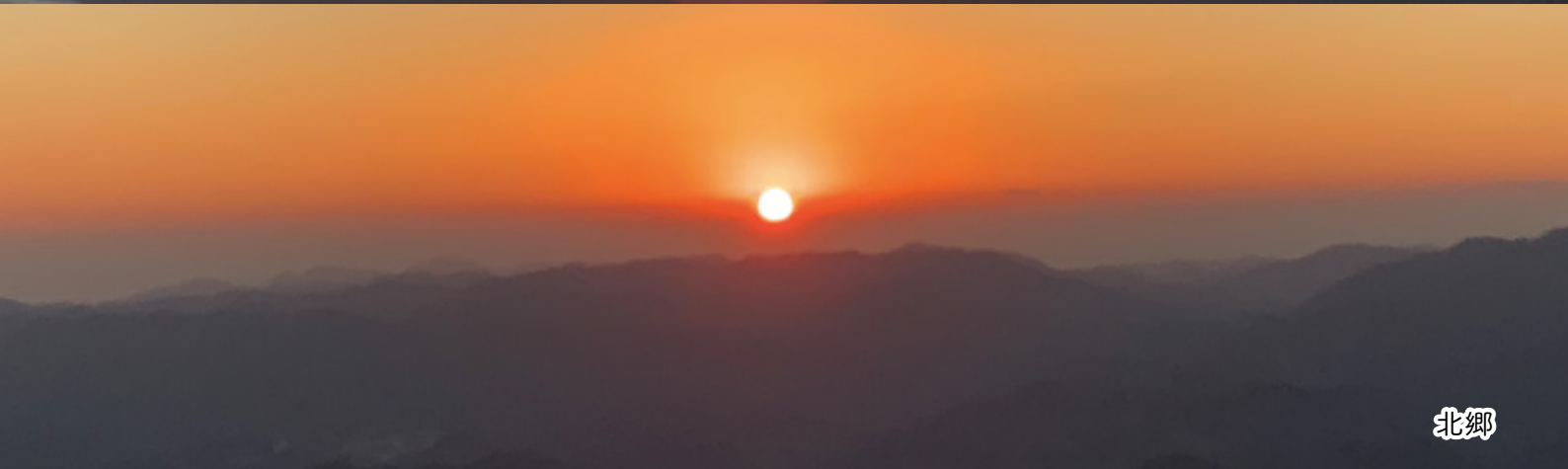
■あれからどうなった?～追跡調査～11P

■美郷町の元気づけと／編集後記12P

議会だよりはスマートフォンやパソコン、
タブレットからでもご覧になれます。



西郷



北郷



南郷

新年を迎えて



議長
やまもと ふみお
山本 文男

新年を迎え、美郷町議会を代表しまして、ご挨拶申し上げます。

議会では、町民の皆様が安心・安全に暮らせる町であるよう、議員各位日々精進し一丸となって頑張っておりますので、ご支援ご協力をよろしくお願い致します。

本町では、昨年も新型コロナウイルス感染症に振りまわされ、町や地区の行事が中止となりました。子ども達の笑顔を見る機会が失われ、いまだに日常の生活がままなりません。

これに昨年9月の台風が追いうちをかけ現在も不自由な生活を送られている方がおられます。生活や産業の復旧に向けての対応をしっかりと進めてまいります。

新しい年も私たちは現場に足を運んで町民の皆様と対話をしながら「町民に寄り添った議会」を目指してまいります。

結びに、一刻も早い災害復旧と、町民の皆様のご健康をお祈り申し上げて、新年の挨拶とさせていただきます。



わかすぎ しんじ
若杉 伸児

昨年の漢字一文字は『戦』でした。ウクライナ侵攻によるものかと複雑な心境です。人と戦わず自分自身と戦いたいものです。



なかだ たけみつ
中田 武満

安全で安心して暮らせる美郷、明るい未来ある町づくりの為に更に頑張ります。



なかしま ならお
中嶋 奈良雄

台風14号により被災された方々のお見舞い申し上げます。国道388号、小黒木山口原線、農林業の振興に頑張っていきます。



なす とみしげ
那須 富重

今年は特A米のブランド化、休耕地対策、移住定住促進、定着医の確保、そして新たに、災害に備えられる町作りを目標とします。



かい ひでのり
甲斐 秀徳

本年度も米の食味ランキングにおいて特Aを4回連続取り、美郷ブランド米として中山間地域を盛り上げたい。



はやかわ せつお
早川 節夫

謹んで新春のお慶び申し上げます。本年は一層精進します。昨年同様宜しくお願いいたします。



こだま ごうし
児玉 鋼士

初春のお慶びを申し上げます。本年は災害の起きない事をお祈り致します。皆さんの声を町政に届けられるよう頑張ります。



かわむら よしゆき
川村 義幸

6年目の議員活動になりました。今年も様々なことに真剣に取り組んで参ります。先行き明るい年であることをご祈念申し上げます。



こうじ ふみよし
小路 文喜

2023年が平和で暮らしが良くなる年となるように！まもう平和憲法と暮らし！頑張ります！！



かわむら よしひこ
川村 嘉彦

昨年は台風災害で大変な年でしたが、今年は1日も早く復興できるよう皆さんと共に頑張ります。卯年、平和でありますように！

第4回定例会では、教育委員会委員の任命に関する同意事項や、町職員の定年引き上げに関する条例改正、補正予算など計18件の議案が町長より上程され、全て原案のとおり可決しました。

人事案件	条 例	補正予算	その他
1件	8件	8件	1件

民間委託の観光施設、費用の住み分けは

南郷温泉・コテージ山霧の改修・修繕 1,005万円

老朽化による施設や設備の修繕や、施設の有効活用をはかるための改修を行う。

南郷温泉施設 166万円

・ポンプ取替・天井クロスの張替など

南郷コテージ施設 839万円

・設備更新・コテージロフトの階段設置など

質 民間委託の観光施設を改修する場合、費用をどこがみるのかきちんと住み分けをする必要があるのでは。

答 協定を交わして運用をしている。建築物本体の改修、大規模な修繕、更新については町で費用を負担している。
コテージ山霧の年間150万円までの修繕は委託先の民間業者が負担する。

迅速な復旧・復興への対応を

台風14号災害復旧予算 15億7,724万円

農地・農業施設・林道・道路等の復旧

補助事業 (国などからの 補助金あり)	種類	箇所数	地区数・路線数	今回補正額
	農地	25	25地区	3億7,500万円
	農業施設	23	23地区	
	奥地林道	21	21路線	4億5,000万円
	その他林道	35	35路線	
	道路橋梁	40	—	7億円

町単独事業 (国などからの 補助なし)	種類	箇所数	地区数・路線数	今回補正額
	農地	10	10	1,770万円
	農業施設	15	15	
	奥地林道	工法変更により測量・設計の 延長増加見込みによる増額		900万円
	その他林道			
	道路橋梁	災害査定に必要な費用についての増額		2,554万円



議会としても早期の災害復旧のために、関係機関への要望を積極的に行ってまいります。

その他議案

ながた たかこ

美郷町教育委員会委員に長田孝子氏を任命

令和5年2月20日をもって上村かおり委員が任期満了となることから、後任に長田孝子さんの同意案件が上程され、原案通り可決されました。

北郷地区在住の長田氏は地域の子ども達を対象としたピアノ教室を運営されるなど教育活動に熱心に取り組んでおられ、また、地域や学校におけるPTA活動にも積極的に参加されるなど、本町の教育行政に高い見識を有しています。



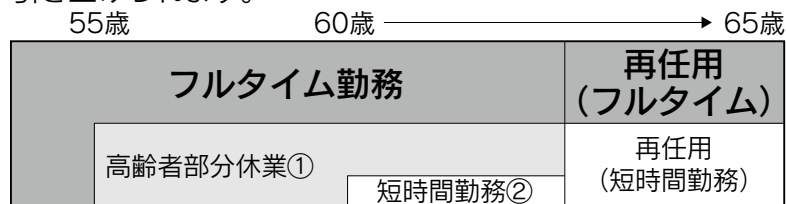
町職員の定年が65歳へ引き上げられます

地方公務員（役場職員）の定年は国家公務員の定年を基準として、各自治体が条例で定めています。令和3年に国家公務員の定年が令和5年度から段階的に65歳まで引き上げられることが決定し、本町についても同様の取り扱いとするため条例の改正を行いました。

また、組織全体としての活力の維持や、高齢期における多様な生活の支援を図るために諸制度が設けられています。

（段階的な定年引き上げのイメージ）

定年は令和5～13年度の期間で、2年に1歳ずつ段階的に引き上げられます。



※この期間は退職後再任用職員として勤務が可能となります。

①高齢者部分休業とは

勤務時間の半分を上限として休業できる制度（勤務しない時間は給与を減額）

②短時間勤務とは

一度職員を退職し、非常勤職員として再任用される制度。定年退職後は短時間勤務の職員として再任用。

農家経営に関する請願 不採択

「水田活用の直接支払交付金」の見直しを中止し、すべての農家経営への支援強化を求める請願

請願者：宮崎県農民組合連合会 会長 有田辰二 氏

（請願の内容）

政府が2022年度から「水田活用の直接支払交付金」の見直し方針を明らかにし、畦や水路がなく水張りができない水田や、5年間1度も米を作らなかった水田は交付金の対象から外すというものである。交付金の削減を行うことなく、全ての農家を対象にした施策・予算の一層の拡充のため、「水田活用の直接支払交付金」の見直しは行わないこと。自給率の低い戦略作物、農産物に対する交付金・支援策を充実させ、すべての農家経営の安定をはかること。

上記を求める請願です。

請願書は請願の事項を所管する官公庁に提出しなければならないとなっており、上記の請願は町の行政や議会の権限に属さない事項であることから審議の結果不採択にすべきものとなりました。

氏名	若杉伸児	早川節夫	中田武満	兒玉鋼士	中嶋奈良雄	川村義幸	那須富重	小路文喜	甲斐秀徳	川村嘉彦
賛否	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●

※山本議員は議長であるため表決には加わりません。○賛成 ●反対

請願と陳情とは？

町の施策等に関することで、町議会に対し直接要望や、意見があるときに活用できる制度が請願および陳情です。2つの主な違いは…

請 願	陳 情
※「請願権」で保障されています。	
・提出には議員の紹介が必要です。	・提出に議員の紹介は不要です。
・提出された請願は委員会審査後本会議にて、「採択」、「不採択」の結論が出ます。	・趣旨等の検討は行いますが、請願と違い委員会や本会議での審議は行いません。
・採択された場合は国や町に意見書を提出します。	

※議案一覧・議決結果は、ホームページでご覧になれますが、QRコードでも簡単にご覧になれます。



11月7日に臨時会が開催され、台風14号に関する請願および特別会計を含む補正予算4件の議案が提出され、いずれも原案のとおり可決・採択しました。

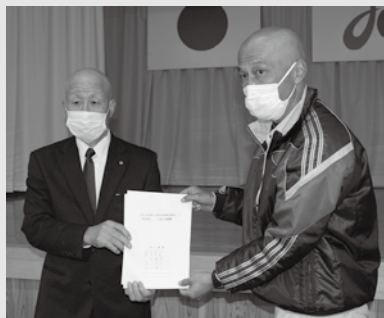
被災地域の浸水対策に関する請願

採択

「令和4年台風14号和田地区被災地域の浸水対策」に関する請願書

請願者：和田地区被災者の会

代表 三股 哲也 氏



11月1日和田地区被害者の会代表より請願を受け取り、その後意見交換を行いました。



(請願の内容)

昨年9月発生の台風14号において西郷和田地区は平成17年の台風14号で被災後、2度目の被災を受けました。

この17年間、耳川の堤防の整備、宅地の嵩上げ等整備されていなかったことから、堤防整備、宅地嵩上げ、堆積砂利の除去、治水整備など、西郷和田地区の浸水対策について、

- ・地元住民を含めた関係機関による対策会議の設置
- ・計画の早急な決定
- ・早期整備

上記を町議会から関係機関に強く要望することを求めるものです。

臨時会での採決の結果、全会一致で採択しました。
昨年内に2回の意見交換会が開催されています。

災害復旧事業 一部抜粋

農業生産施設等災害 復旧事業補助金 520万円

被災した農林産物生産施設の復旧に必要な費用を助成する。

質 農業共済等への加入者はこの補助金の対象となるが、共済の対象とならず全額自己負担となる農家もいるようである。
町単独で少しでも応援はできないか。

答 現在町単独の事業は無いが、今回の被害によって離農を考えている農家もいると聞くので、支援の検討を行っていきたい。



9月29日・10月7日に災害現場視察を行いました。

農業集落排水施設の復旧

1,171万円

被災した西郷和田若宮、花水流地区の農業集落排水施設の応急復旧等にかかる費用

質 水が流れるよう集落の末端に設計されているが、前回は浸水被害にあっている。抜本的な対策が必要ではないか。

答 前回浸水した際は原型復旧であった。今回は心臓部分である配電盤等の電気系統を浸水想定水位より上に上げる設計をしている。

公営住宅の修繕 183万円

カーポートの破損、軒破損、雨漏り等の修繕

西郷地区	南郷地区	北郷地区
14件	5件	19件

町政を問う

一般質問

令和4年第4回定例会の一般質問は、12月7日、8日の2日間の日程で行われ、7名の議員が一般質問を行いました。主な質問と答弁の内容は次の通りです。

また、本会議でのやりとり(会議録)がホームページで閲覧でき、一般質問もすべて見るができますので、ぜひご覧下さい。(議会終了後、会議録の調製等に3月程度かかりますので、あらかじめご了承下さい。)



本年台風14号被害後の対応、対策等について

中 田 台風被害が甚大である場合は、今後の台風対策のためにも速やかに反省会議を開催し、次の備えをすべきと思うが町長の考えは。

町 長 被害前後において対策会議を幾度も開催した。その中で今後早急に検討すべき課題もあり美郷町地域防災計画の見直しを行うことで対応したい。

停電では復旧時期の不確実性があるので事前に九州電力への申し入れを行いたい。

現在指定の避難所は変更も必要である。今後は町民の意見要望を聞き、より安全な場所を指定したい。

被害の復旧については災害査定後、発注を進めるが、被災者、被災地の関係者と連携・調整しながら進めていく。



なかだ たけみつ
中田 武満 議員

西郷病院、南郷診療所、北郷診療所での医療情報共有について

中 田 現在3病院では電子カルテが導入され、受診者の治療情報が管理されている。南郷、北郷診療所では時間外診療が行われていないので、受診者の緊急対応が必要なときに基礎疾患情報等が提供されない場合がある。改善できないのか。

町 長 本年、3病院において電子カルテ導入が完了した。今後は医療情報共有によってさらに利便性が高まるので、改善することで進めていく。

ポイント1 地域防災計画とは？

町民の生命、財産を災害から守るための対策を実施することを目的とし、災害に関わる事務・業務に関して総合的かつ計画的な対策を定めた計画。

美郷町の地域防災計画は町ホームページから確認することができます。



ポイント2 電子カルテ導入の目的は？

- ・カルテ記載事務、投薬事務の省力化
- ・必要な情報の共有化・診療記録以外の情報閲覧(画像など)
- ・紙媒体の保存スペースの解消

議会を見にこんね！

どなたでも傍聴できます。

傍聴席は新型コロナウイルス対策のため、人数制限を行っております。(当日受付先着順) ご理解頂きますようお願いいたします。

※体調不良の方は傍聴をご遠慮願います。また、手指の消毒、マスクの着用をお願いしております。

第4回定例会の傍聴者数 7人

第3回臨時会の傍聴者数12人

※臨時会は一般質問を行いません。

次回定例会は、
3月2日(木)開会予定です。

台風14号で住宅の浸水被害を受けた現在およびこれからの仮住宅について

早 川 今回和田地区を中心に浸水被害を受けた方が沢山おられる。そんな中で現在県営住宅に4世帯、町営住宅に1世帯、仮住宅に住まわれている方がいるが、何回も引っ越しをするのは大変だと思う。いつまで住み続けられるか、確認が取れているのか。

町 長 来年の9月までは入居可能。仮の住宅のため住んでいる方と協議をしながら進めていきたい。

早 川 自宅が復旧するまでに、またはつきりとした工事が決まるまでに、引っ越しすることなく、安心して住み続けられる仮住宅の確保が必要であると思うが、町でその支援をする考えがあるのか。

町 長 無理のないように、優先的に入れるように、また、家賃についても便宜をはかりたい。

ポイント フレイルとは？

人は年を取ると体の力が弱くなり、外出する機会が減り、病気にならないまでも手助けや介護が必要になってくる。このように心と体の働きが弱くなってきた状態。

「神話の里」事業継承について

小 路 「神話の里」は7人の方が働いていて同時に、南郷地区での施設利用を求める家族もおられる。本施設の事業継承を行うことが必要と考えるが。

町 長 事業引き継ぎについては、第3セクター等の指定管理の形での対応を考えている。

水道料金制度の変更について

小 路 世帯構成が大きく変わり、独居世帯、高齢者の2人住まいなどが多くなり、水道使用量も基準に満たない世帯が増えて来ているが、10トン使用した前提で料金を徴収することは不合理であると考えている。

町 長 来年度より基準使用料を引き下げて、改善する。

ポイント 水道料金（税込み：令和4年12月現在）

	基本料金(10㎡まで)	超過料金(1㎡超過ごと)
水道使用料	1,456円	94円
農業集落排水使用料	1,320円	136円



はやかわ せつお 議員

高齢者の補聴器購入時の補助について

早 川 美郷町独自で65歳以上の方を対象に補聴器購入時の補助ができないものか。聴力低下へ早期に対応し、認知症やフレイルの進行を穏やかにし、生活の質を維持し、社会交流を図り、また住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らすことが出来るよう、難聴により生活に支障が生じている高齢者の方に補聴器購入時にかかる費用の一部を補助できないか。

町 長 宮崎県では、三股町が取り組んでいる。美郷町においても何らかの手を打ちたい。要望という形で担当課長と担当者、そこに社会福祉協議会も含めて、どういう実態かを見極めて制度設計を行いたい。



こうじ ふみよし 議員

医療費助成年齢の引き上げについて

小 路 子どもの医療費を助成することにより、子どもの疾病等の治療を安易にし、子どもの福祉の向上および健全な発育の推進を図るため、高校卒業までの医療費助成が必要と考える。

町 長 制度は有用だが、財政的な事情もあり当面、高校卒業までの医療費助成は行わない。

地域活性化事業実施について

小 路 地域活性化のためには、3地区でもいろいろな行事が行われ、結果3地区が均等に発展することが大変重要だと考える。

町 長 今取り組まれている「ちくせん」等を通じて、地域全体の発展に力を尽くす。

社会福祉協議会の会長職について

川 村 町長が社会福祉協議会会長兼務では、大規模災害になったらとても対応できないのではないかとと思われる。社会福祉協議会会長は別人を選任して、町長職との兼務を無くしたらどうか。

町 長 以前から、町長と社会福祉協議会会長と第3セクター社長の兼務では無理があると思っていたが、今回の災害で兼務はとてもできないことがよく分かった。できればそれぞれ分けて代表を作って対応できるような方向で進んで行きたい。



かわむら よしゆき
川村 義幸 議員

川 村 なるべく早く選任すべきと考える。

町 長 早いうちに人選に入りたいが、難しい部分もある。識見を持った方に会長になっていただきたい。

ポイント 町長が兼務している代表職



美郷町社会福祉協議会会長
職員数：140名



株式会社レイクランド西郷社長
社員数：16名



株式会社南郷温泉社長
社員数：19名

※南郷温泉については令和5年4月1日より指定管理者が株式会社ケイメイへ変わります。

台風14号による災害箇所の対策について

児 玉 台風14号による災害箇所の今後の対応は。

町 長 今回の台風による災害箇所は315箇所、国、県、各関係機関と連携し段階を経てしっかり復旧を行う。

児 玉 災害時の生活道の確保等で、町内の建設事業者はなくてはならない存在であると感じたが、町長の見解は。

町 長 改めてなくてはならない存在と認識した。

児 玉 農地等の管理者が自ら復旧作業を行った場合、町の支援があるのか。また、支援の対象となる基準は。

町 長 自分で復旧した箇所においては災害適用除外の小規模災害だと考えるので対象外となる。また、限度額もある。自ら対応できる箇所についてはお願いしたい。畦畔の崩壊により水溜ができない農地や、水路の復旧が主体となる。

町民が安心して住める町の体制作りについて

児 玉 西郷は本所、北郷と南郷は総合支所であったが、北郷と南郷を地域課にした経緯は。



こだま ごうし
児玉 鋼士 議員

町 長 3か所の総合支所、小さな本所大きな支所の維持が職員数、財源等で難しくなり、また、支所の利用は証明事項が大半であったことが組織の改革変更につながった。

児 玉 町内各地区の人口に対する本所、支所の職員体制をどのように捉えているのか。

町 長 最初は批判もあったが、職員のスキル向上の為に、今の方式で良いと考える。災害時には職員を6班に分けて対応しているので問題はないと考える。

児 玉 北郷、南郷の支所職員に令和5年度からの地方公務員定年引き上げ対象者を増員する形で配属する考えはないか。

町 長 建設課の経験豊富な方が必要であれば考えるが、本人の意向もある。残っていただく職員がいれば考える。

本町の災害対応について

- 那 須** 台風14号での避難先で土石流災害により人命に係わる重大な危機的状況があった。今後の避難のあり方について改善が必要だが、その対策は。
- 町 長** 地域防災計画の中で避難所、避難のあり方、居住地域を安全性の面から見直していく必要がある。
- 那 須** 土木の業者が差し当たっての土捨て場がなくて困っているがいかがか。
- 町 長** 町で平場3箇所を土捨て場として買い上げ、埋め立て、出来た土地は住宅用地としても良いと考える。
- 那 須** 14号台風により停電が発生し、断水が続いた。水源地に発電機を設置すべきと考えるが。
- 町 長** 発電機は必要である。一度に揃えるのは難しいが備品として揃えたい。また、給水車も必要である。
- 那 須** 被災後、停電の復旧に時間が掛かりすぎている事例があった。九電への聞き取り調査を実施すべきであるがいかがか。
- 町 長** 九電に対して言うべきことは言っていきたい。議会の皆さんにもお願いしたい。



なす とみしげ 議員

- 那 須** 被災後の戸別アンケートによる被害調査を行うべきであるがいかがか。
- 町 長** 実施する。

地域おこし協力隊について

- 那 須** 地域おこし協力隊の定着率が悪い。隊員の力が十分に発揮されていないようだが、今後の定着率アップの取り組みをどうするのか。
- 町 長** 委員会報告によると協力隊の方々は人生をかけて美郷町に来ている。これまでの支援が不十分であったならば不徳の致すところである。今後、募集の意義を考え報酬と活動費、そして町の備品の貸し出しを含め、起業と定住に向けてしっかりと応援していく。

美郷米ブランド構築について

- 若 杉** 米集荷の安定・所得向上・生産面積の維持を目的に価格補填を行っている。しかしJA買取価格の変動により補填金額も変動している。今後も同じような形で事業を継続するのか。
- 町 長** 私自身、農地の維持も含め米についてはこだわりがある。一等米8,000円の価格補填については極端に買取価格が下がらない限り、財政面も視野に入れつつ当面は維持したい。JAにも安定した買取価格の設定をお願いしている。

ポイント 米の買取価格の補填とは？

JA日向の米(ヒノヒカリ)の買い取り価格を前年並みに維持するために上乗せ補助を行っている。

※価格の補填は 8,000 円 / 一等米 30 kgを維持

	JA 買取価格	補填額
R3年度	7,400円	600円
R4年度	7,000円	1,000円

災害時の避難所誘導について

- 若 杉** 台風接近時等の指定された避難所への誘導について、消防・自治公民館・社会福祉協議会・民生委員等にマニュアルがあるのか。



わかすぎ しんじ 議員

- 町 長** 色々な方々に協力頂いている。しかし行動マニュアルはない。ただし職員行動マニュアルを整備し、避難誘導について取り組んでいる。毎年9月に実施している防災訓練で、各地区自治防災組織も避難誘導のタイミングを含め行動を確認してもらいたい。
- 若 杉** 最終的な避難の判断は、依然として個人の判断によるものが大きい。行政として今後の取り組みは。
- 町 長** 避難誘導の責任に関して消防団に迷惑を掛けてはならない。防災計画を見直す中で、しっかりとしたものを作っていく。避難所の整備や避難するマイクロバス等の車両提供も検討したい。

総務厚生常任委員会調査 町の医療体制の充実を

1. 調査日 令和4年11月17日（木曜日）
2. 調査場所 役場議会委員会室

地域包括医療局の病院、診療所や各部門の体制、診療内容について説明を受けました。

現在は新型コロナの対応が常態化しており、厳しい体制での業務が続いているようである。業務改善の取り組みがされており、夜間勤務のオンコール体制の導入が図られている。苦しい体制での運営ではあるが、町にとって重要な医療の充実のために今後も努力してほしい。

※オンコールとは自宅等で待機し、必要に応じて招集され勤務にあたる体制のことです。

自主財源の確保が課題

1. 調査日 令和4年11月17日（木曜日）
2. 調査場所 役場議会委員会室

令和3年度までの美郷町の決算額等の推移、令和3年度の財政指標について説明を受けました。

町の財政状況は、数字上では改善が見られるが、交付税増や基金の取り崩しによるもので一過性の要因が多く、厳しい財政状況に変わりはない。将来できる限り町民ニーズへ柔軟な対応ができるように、歳入の確保、既存の事務事業の見直しをしていく必要があると感じた。

広報への貴重な意見 ありがとうございました

年に1度開催しております、「広報モニターさんとの意見交換会」を11月25日に開催しました。

当日は様々な視点からのご意見や要望をいただき、大変参考になりました。いただいた主な意見は以下のとおりです。



- ・専門用語、議会用語は町民にはわかりにくい。補足の説明を入れる必要があると思う。
- ・見やすいフォントを研究していただきたい。
- ・追跡調査はその後について気になることが掲載されているので議会だよりを引き立てていると思う。
- ・現在の議会だよりを維持していただきたい。

いただいた意見は委員会で検討を行い、よりよい議会広報づくりに努めてまいります。

文教産業常任委員会調査 地域おこし協力隊への 支援制度・体制の構築を

1. 調査日 令和4年11月7日（月曜日）
2. 調査場所 役場本会議場



地域おこし協力隊の制度と町の活動方針の説明を受け、協力隊員から活動状況について聞き取り調査を行いました。

協力隊制度は町や地域住民でできなかった地域おこしを、協力隊員のスキルや知識を最大限活用して地域おこしを行うことであるが、スキル等が十分に活かされていない隊員がいるように感じた。

隊員の意見を吸い上げ、必要に応じてルールの見直しが必要である。協力隊員が人生をかけて美郷町に移住していることを職員や町民はもっと意識するべきであると強く感じた。

ポイント 協力隊は何をしているのか？

職種：農業、美郷ベンチャー企業支援隊、美郷観光推進隊みさとguide、アロマプレイヤー、栗加工技術の継承、観光プレイングマネージャー、備長炭製炭伝承員

商工業で町を元気にするには

11月24日に美郷町商工会との意見交換会が行われました。

はじめに、商工会の概要について説明を受け、『豊かで活力ある安全・安心な郷づくり』～商工業の活性化を通して～』をテーマに意見交換を行いました。



コロナ禍における経済対策や台風災害からの復興支援について、また、6次産業や事業承継について様々な意見が出されました。

（出された意見※抜粋）

- ・商工業に関する町民の意見を議員が吸い上げて、町民→議員→町→商工会へとつなげてほしい。
- ・少しでも地元で買えるものは地元で買っていただきたい。

あれからどうなった？ ～追跡調査～



ジビエ工房・美郷町ジビエ振興協議会の現状と今後について

(令和4年9月議会での一般質問)

わかすぎ しんじ
若杉 伸児 議員

問 ジビエ工房の運営をどの様に考えているのか。

答 (町長)

ジビエ振興協議会の立て直しを最優先と考える。

(農林振興課長)

加工肉の販売先は業者を確保している。
現在はジビエ解体作業員の確保を最優先で取り組んでいる。



(農林振興課)

令和4年度の美郷町ジビエ振興協議会の体制を整え、10月27日(木)から美郷町ジビエ工房を再開した。

現在はジビエ解体作業員を2名確保した中で会員からの個体搬入を行っており、協議会およびスタッフが解体・成形、また商品開発・販路開拓に取り組んでいる。

今後は、協議会および工房の運営安定と更なる発展に向けて、協議会と綿密に連携しながらサポートしていきたい。



(令和4年12月13日現在)

医師の確保と北郷診療所の存続について

(平成30年9月議会での一般質問)

やまもと ふみお
山本 文男 議員

問 異動の心配のない定着医の招へいを考えているのか。

答 財政的に定着医の確保は難しい。医師の派遣を継続的に県へ要請していきたい。



(地域包括医療局)

医師については、現在5名の医師を県から派遣いただいております、うち1名を北郷診療所の所長として専属で勤務いただいております。今後も、県からの派遣医師が継続していただけるよう引き続き派遣に対する要望活動を行っていく。

また、定着医師の確保についても、医師に関する情報収集を行いながら県や関係機関に対し要望活動を継続していく。

町内病院・診療所の医師数

	西郷病院	南郷診療所	北郷診療所
医師数	5	1	1
内訳	総院長1名		
	院長1名	県派遣1名	県派遣1名
	県派遣3名		

(令和4年12月16日現在)



美郷町の元気びと

第15回

北郷のズッキーニ農家

鶴田 豪さん



植え付けが終わって少しゆっくりする時間があり、7月～8月は消毒をします。それ以外は忙しい毎日です。



▲鶴田さんの育てたズッキーニ

ズッキーニを作るうえで、一番忙しい時期はいつですか。忙しい時期は9月から次の年の6月くらいまでですかね。この間に3回のローテーションで行います。

ハウスの数と、そこで何を作っているのですか。ハウスの数は10棟あります。広さにして2反ほどです。ここでズッキーニを作っています。

北郷入下地区の鶴田豪さん（43歳）を訪問し、お話をうかがいました。



▲今期の収穫が終わり、次に向けた準備を進める鶴田さん。

この仕事の疲れをとるには、大好きな釣りをすることです。釣った魚を料理し、家族で食事会（飲み会）をします。もう最高の時間です。

ゆっくりできる時間を何に使っていますか。

この仕事を始めて何年になりますか。また、何人で作業をするのですか。

11年目になります。この間大変なことがたくさんありましたが、なんとか軌道に乗せることができました。作業はほとんど一人でこなしていますが、家族も手伝ってくれます。

今後どうしたいですか。

規模は現状維持でいきたいです。品質向上と価格安定を目指したい。それと収穫量を伸ばすよう頑張りたいです。



▲鶴田さんの管理するハウス。

町に望むことはないですか。

町にお願いしたいことは、今から先まだまだ放棄地が増えていくと思われまます。有効利用法を考えたもらい、できるだけ放棄地がでないようにお願いしたいです。

本当に元気な人ですね。身体に気をつけてこれからも頑張ってください。

（取材 早川 節夫）

美郷町の元気びと募集！

美郷町議会だよりでは、美郷町で活動している元気な人「元気びと」を募集しています。ぜひ、ご一報いただければ取材に伺います。自薦他薦は問いません。ご応募お待ちしております！！

議会事務局
TEL(0982)66-3607

編集後記

早いもので令和5年という新しい年を迎えました。最近1年経つのが本当に早く感じるような気がします。

昨年はコロナ感染症、ウクライナ戦争、統一教会問題、そして当町にとっても悲惨な被害をもたらした台風14号など暗いニュースの多い1年でした。

今年こそは明るい1年になることを祈念しながら、広報部会も中嶋部会長の下で議会広報モニターさんの意見も聞きながら多くの皆さんに読んでもらえるような、また、読みやすい議会だよりの発行に取り組んで参ります。

町民の皆さんのご意見等ありましたらお聞かせください。

川村 義幸

（編集）

美郷町議会

広報広聴特別委員会

広報部会

部会長……中嶋奈良雄
委員……中田 武満

川村 義幸
小路 文喜
川村 嘉彦
オブザーバー
山本 文男

※この議会だよりは1部 36.7円でできています。